

令和8年度 さいたま市立原山中学校 学校経営ビジョン (案)



学校教育目標

「抱け 輝け 拓け」

「通ってよかった、原山中！」と生徒が思える学校

Agency (変化を起こすために、自分で目標を設定し、振り返り責任をもって行動する能力)を發揮する職員・子供たち

- ・憲法・教育基本法・関連法令・市条例等
- ・市教育行政方針
- 世界と向き合い
- 未来の創り手として
- 輝き続ける人
- ・市教育の指針・指導の努力点

目指す生徒像

- ◎夢や希望を持つ生徒・思いやりの気持ちを持つ生徒
- ◎自分のよさを伸ばす生徒・心身ともに健康な生徒
- ◎可能性を信じ挑戦する生徒・広い視野を持ち行動する生徒

学校経営方針

- (1) 生徒が、自ら学び自ら考え行動する教育活動を進めます。
- (2) 生徒・保護者に寄り添い、家庭と密接な連携を図ります。
- (3) 教育活動について具体策をもち、生徒の状況に応じた指導・支援を行います。
- (4) 家庭・地域と一体となった学校にします。
- (5) 教育環境を整備し、生徒が安心して学べる安全な学校をつくれます。



\*さいたま市「業務量的管理・健康確保措置実施計画」に沿った業務管理

本年度の重点・努力点

真の学力

基礎学力の習得と充実

【個別最適な学びの実現 一人1台端末の活用 SSSPの推進、学びの自律化】

探究的な学習活動の推進

【カリマネ DM の充実 総合的な学習の時間を主軸、教科横断的な授業改革、さいたま市 STEAMS 教育、SDGs 教育の推進】

キャリア教育の充実

【3年間を見通した自己実現への軌跡の構築】

豊かな心

自己肯定感、自尊感情の高揚

【道徳、特別活動の推進】

生徒指導・教育相談体制の充実

【生徒理解根底の生徒との関係づくり 各委員会での具体策の協議・実施 さわやか相談員等との情報共有】

迅速な情報の共有と対応、他機関との連携

【学年、各分掌主任、管理職への情報伝達 ケース会議の適時開催 外部機関との連携】

健やかな体

体力・運動能力の向上

【子どものための体力向上サポートプランの推進】

健康教育・安全教育・食育の推進

【課題の把握と改善策の実施 学校保健委員会の活用】

【SNSの適切な利用 防災・防犯教育 交通安全指導】

【献立の工夫 給食指導・地産食材利用】

他との豊かな関わり合い

非認知能力の育成

【予測困難なこれからの国際化社会に必要な資質・能力とは?】

・他と協働して課題を解決する力

・Guts (勇気)、Resilience (復元力)、Initiative (自発性)、Tenacity (粘り強さ)

・情報を集め分析し、発表する力 等々

連携・協働

地域とともにある学校づくり 【コミュニティ・スクールの充実】

地域人材・企業等の活用 【生徒の地域行事へ積極的な参加】 【自治会、育成会、企業との情報共有・連携】

積極的な情報発信 【学校H・Pの充実】 【デジタル連絡ツール導入の検討】 【発信方法の拡充】